



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

2020年6月1日

## 医療従事者の家族に対する偏見や差別について

武蔵野赤十字病院院長 泉 並木

新型コロナウイルス感染に対する国を挙げて対応した結果、感染爆発にはいならず、何とか非常事態宣言は解除され世界の中で最も対策に成功した国にひとつに挙げられています。これは、国民が一致団結して自粛に協力したことに加えて、医療従事者の献身的な努力が実を結んだ成果だと考えられます。

しかしながら、現在でも医師や看護師の家族に対する差別や偏見でつらい思いをしている医療従事者が多数おります。コロナウイルス感染に対して、懸命に戦った医療従事者およびその家族に対する差別や偏見に対して、強く抗議いたします。

武蔵野赤十字病院では、コロナウイルスに感染された患者さんの治療を隔離病棟で行いました。感染者のいる病室はゾーニングという手法で清潔エリアと隔離しております。患者さんの診療をする医師・看護師は、N95というウイルスを通さないマスクをつけ、フェースシールドで顔を覆い、防護服を着て対応します。感染エリアから清潔エリアに出る際には、N95マスクや防護服を脱いで、コロナウイルスが院内に拡がらないよう対策を万全に行っています。

医療従事者は帰宅したら手洗いや入浴を行い、ウイルスが拡大しないように入念で慎重な対策を行っています。また、コロナウイルス感染者の病棟で勤務した医師・看護師は、2週間の勤務終了後に全員PCRを受けていますが、医療行為で感染した者は一人もおりません。さらに、血液中のコロナウイルス抗体を調べましたが、誰一人陽性になった人はおりません。N95マスク、フェースシールドと防護服をきちんと身につけていれば、感染しないことが科学的に証明できたと思い、院長として安心し、また職員の感染予防技術の高さに感銘を受けています。

しかしながら、保育所や幼稚園などで当院職員の子供さんが差別を受けているという報告を複数受けており、院長として断腸の思いです。武蔵野赤十字病院職員はコロナウイルス感染者の診療をしても自らは感染しなかったことが自主的な検査により科学的に証明されています。また、私たちは医療者としての自覚を持ち院外でも三密を避ける、マスク着用、手洗いなど感染予防行動を徹底しており、医療者を通じて子供など家族に感染することは決してありません。

日本赤十字社では、コロナウイルスに対する医療従事者の対応について、2020年5月20日に天皇皇后両陛下にご進講申し上げ、両陛下からあたたかい励ましとねぎらいのお言葉を頂戴いたしました。特に、医療従事者およびその家族に対する差別や偏見に対するご理解をお示しいただいております。以下に、その記事を引用させていただきます。

---

大塚義治日本赤十字社社長・富田博樹同副社長 ご進講(令和2年5月20日)

出典: 宮内庁ホームページ(<https://www.kunaicho.go.jp/page/okotoba/detail/66>)

(天皇陛下)

今日はお忙しいところ時間をとっていただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の発生以来、日本赤十字社の職員を始め多くの医療従事者の皆さんが、自らの感染の危険も顧みず、大勢の患者さんの命を救うため、また、感染の拡大を防ぐため、日夜、大変な尽力をされてきていることに深い敬意と感謝の気持ちを表します。日本赤十字社も、大塚社長以下、この間様々な困難に直面されてきたことと思います。

最近では、これまでの医療従事者の皆さんの献身的なご尽力と国民の協力により、国内の一定の地域で、事態の改善が認められています。国内で退院などをされた患者さんも一万人を超えたと聞いております。然しながら、このウイルスをめぐる困難な状況は今後も続くことが予想されます。

特に、医療物資が不足する中、医療に従事される皆さんには、大変なご苦勞を重ねられてきていることと思います。また、このような状況が長期化する中、皆さんのお疲れもいかばかりかと案じていますし、心ない偏見に遭う方もおられると聞き心配しています。

これからも、私たち皆が、この感染症の克服に向けて、心を一つにして力を合わせ、困難な状況を乗り越えていくことが大切だと思います。

新型コロナウイルスと闘っている医療従事者の皆さんに、改めて心から感謝の意を表しますとともに、皆さんには、今後ともくれぐれも体に気をつけてお仕事を続けられるよう願っています。

(皇后陛下)

日本赤十字社の皆さんには、新型コロナウイルス感染症の発生以来、その対応のため、大変な毎日を過ごしてこられたことと思います。特に、医療現場で働かれる皆さん

人には、危険も伴う大変重い任務を担ってこられました。皆さんの懸命な医療活動は、多くの患者さんの命を救ってこられたものと思います。

これまで医療活動に献身的に力を尽くしてこられている方々、そして、その方々を支えられているご家族や周囲の方々に、陛下とご一緒に心からのお礼の気持ちをお伝えしたいと思います。

これからも、まだ厳しい状況が続くことが案じられます。日本赤十字社の皆さんを始め、医療に従事される皆さん方には、くれぐれもお体を大切にされながら、これからも多くの方の力になり、この大切なお務めを無事に果たしていかれますよう、心から願っております。

---

ご進講を通して、医療従事者の苦勞と併せてその家族の方々の苦勞に対しても心を寄せられ、無事に医療行為が続けられることを願われたのでした。

今後もコロナウイルス感染との闘いは続くと予想され、国民は団結してウイルスと戦っていかなければならないと思います。医療従事者を暖かく励ましていただき、わが国全体でこの難局を乗り切ることが大切だと思います。くれぐれも、医療従事者が傷つくような言動は控えていただきますようお願い申し上げます。